

POWER PLAY SOUND

Music is moistened our life.
Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.



UNI/ユニ Macho (左) Osho (右)
<http://www.throb.jp/>



LA'movin

Throb Records 2625円 (税込)

「2人で音楽を突き詰めると、やっぱりそれぞれの隠れたい部分が出てきて軌跡が生まれちゃうじゃないですか？ 前作ではもうUNIを辞める跡めないってところまでいったし(笑)。今回はどうやってその拘りを捨てるかがキモでしたわ。前作は腹を痛めて生んだある種の親バカな作品だけど、今回は友人ができた感じの作品です」

ずっと言いたかった
ありがとうの気持ち、
手紙で届けませんか？

新成人を迎えるあなたは、家族やお世話になった人たちに「ありがとう」を。その家族や関係深い人たちは、新成人を迎える人へ「おめでとう」を。いつもは素直に言えなかった「ありがとう」と、声にしては伝えきれない「おめでとう」を手紙に書いて伝えませんか？「おめでとう、ありがとう」の心の交流が溢れるきっかけづくりとして、心のもった手紙を募集します。心温まる作品については表彰と共に成人式記念冊子へ掲載、副賞として温泉旅行券を贈呈します。

■応募資格者

平成16年度に成人式を迎える新成人本人、またはその家族や新成人と特に関係の深い方。

■応募方法

600字程度の自由作文(ただし未発表のものに限る)に、氏名・年齢・連絡先を明記して下記まで郵送・FAX・E-mailのいずれかでお送り下さい。

■募集期間

平成16年10月1日(金)～11月19日(金) 必着

■応募先・問合わせ先

京都市教育委員会社会教育課 成人式担当
〒604-8571
京都市中京区寺町御池上ル上本能寺前町488
TEL: 075-222-3800
FAX: 075-222-3760
E-mail: syakyo@edu.city.kyoto.jp

recommended



ST. ANGER/METALLICA

Sony Music 3150円 (税込)

「メタリカは高校時代から聞いてたけど、改めて聞きたかったいいですね。このヘヴィな音の良さをいつの間にか忘れてました(笑)」

01 recommended

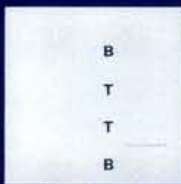


The 1st/X-Dream

輸入盤

「最近のトランスシーン全体に言えることなんだけど、何を聞いても同じ音にしか聞こえないっていうのがあって、そんな中で彼らはオリジナリティが突出して好きですね」

02 recommended



BTTB/坂本龍一

WARNER MUSIC JAPAN 3056円 (税込)

「友人の家で聞いたのが最初なんですけど、あまりCDを買わない僕が欲しくなった一枚。最近ピアノの曲もいいなって思いますね」

03 recommended

トランスシーンを席巻する 揺るぎない孤高のユニット

「最近のトランスシーンって金太郎飴みたいどこを切っても同じなんですよ(笑)。それが嫌で」と話すOsho。彼の生み出すエレクトロなトラックに、Machoの乾いたロートタムのリズム&テルミンが織り成すUNIのサウンド。'96年の結成以来、「RAINBOW2000」「富士SUMMER ARCADE」「札幌S.U.N.S」などの野外レイヴやビッグフェスの舞台を踏み彼らのサウンドを披露してきた。今年も当然の様に「God Bless」「FUJI ROCK FESTIVAL'04」などの大舞台にも出演を果たしているのだ。そして過去にリリースした1stアルバム「UNI/UNI」と2ndアルバム「VENUS」は国内のトランスシーンに稀有な好セールスを記録した。そう、彼らは絶対的な地位を確立しつつあるのだ。換言すれば、金太郎飴状態のトランスシーンの中で彼らのサウンドやパフォーマンスが突出している、そういうことだろう。

今こそトランスシーンで支持を得たUNIだが、現在のトラックと生ドラムを融合させる独自のサウンドがそうすんなりと生まれたわけではなかった。もともとロックバンド出身の2人、それぞれのバンドが解散しOshoはトランス、Machoはテクノへそれぞれのイベントに足を向けるようになった。そこでMachoは「バンドとは違って、最初からクオリティの高い音が出せるんじゃないか？」とテクノに開眼し、大学の先輩後輩の関係だったMachoとUNIを結成する。だが、当時はトランスライブというスタイルが皆無だった時代、Machoは「ボクらのスタイルがウケるのか心配でしたわ。トランスパーティでライブなんかしていいの？って(笑)」思っていたそう。そんな不安も蓋を開ければちっぽけなものだった。「もう『ヒーローがやってきた!』みたいな感じで、メチャ反応がよかった。これはいけるな、と」。そうして自分たちのサウンドに自身が持てたと言う。

独自のサウンド、トライバルなビート、ドラマティックな展開...そう評されるかれらのサウンドだが、実際のところ言葉では伝わらないのが実情だろう。だからこそ一度手にして聴いてほしい、実力・経験共に円熟した彼らの3rdアルバム「LA'movin」を。